

## eコミュニティ・プラットフォーム

つくばにおける災害リスクガバナンス実証実験の取り組み

防災システム研究センター 研究員 増田 和順



### はじめに

「eコミュニティつくば(以下、eコミつくば)」(<http://www.e298.jp/>)はつくば市役所と防災科研が共同研究の社会実験の場として、2006年7月15日から運用を開始したウェブシステムで、地域で実際に活動している様々なグループが参加して運営しています。即時性・簡易性・柔軟性を生かし、地域の共通課題に対して、グループの参加者や関係者、またウェブ閲覧者がそれぞれ持っている小さな知恵や力を、文章や画像や電子地図で共有することにより、地域の問題解決に役立てるためのプラットフォームとして活用されることを目的にしています。

### これまでの推移

#### ●運用開始

つくば市役所のホームページと市報などで募集を行った結果「茨城ゴールデン・ゴールズつくば応援団」をはじめ「つくば食べある記(趣味の食べ歩き)」「ほにゃらキッズ(障害児支援団体)」「かすみがうら\*ネット(環境保全NPO)」「つくばダッシュ村(里山遊びの会)」「みんなでつくろう安全安心マップ(つくば市生活安全課)」「TsukubaTimes(筑波大生)」「RadioTsukuba(ミニFMボランティア)」など、つくば地域ならではの多種多様な活動を行うグループが9団体集まり、2007年7月15日に運用を開始しました。

当初の各グループの主な参加動機は、無償で利用できるウェブシステムを使った活動情報のパブリッシングでした。

#### ●メーリングリスト導入

連絡の効率化や情報交換の円滑化のために、参加グループの間で導入を求める声が高まり、2006年9月末に運用を開始しました。

あるイベントに運営事務局が出席し、メーリングリストで報告を行ったことをきっかけに徐々に、あるグループ主催のイベントに複数グループが参加や協力をするといった横の連携が見られるようになりました。

例えば「Knight ☆団〜つくば探検隊(趣味のまちあるき)」が開催した筑波山旧参道まちあるきワークショップにはeコミつくばの6グループが参加をし、共通の地域資源である筑波山及び筑波山神社の歴史を学び、この地域特有の災害特性を体感する貴重な体験になりました。

また参加者同士が違った立場や視点から意見交換を行ない、互いの課題や相談を行う、新しいコミュニティの土壌ができました。

#### ●つくば社会福祉協議会の参画

2006年11月26日及び12月10日に行われた「吾妻周辺地域安全安心マップ」を活用したまちあるきワークショップは、地域の防犯自警団や小学校PTA役員、そしてつくば市社会福祉協議会(以下、社協)が養成している災害ボランティアの協力で実現しました。このイベントを契機に、つくば市社協がeコミつくばと深

い関わりを持つようになりました。

また2007年3月末には、つくば市社協と関わりのある県域防災ボランティアグループ「茨城レスキューサポートバイク（以下、IRB）」がeコミつくばに参加したことで、運営協議会の中で防災や防犯に対する議論や意識が高まるきっかけになりました。

### ●災害ボランティアセンター設置訓練

「IRB」の提案につくば市社協が応えるかたちで2007年8月11日に開催されました。

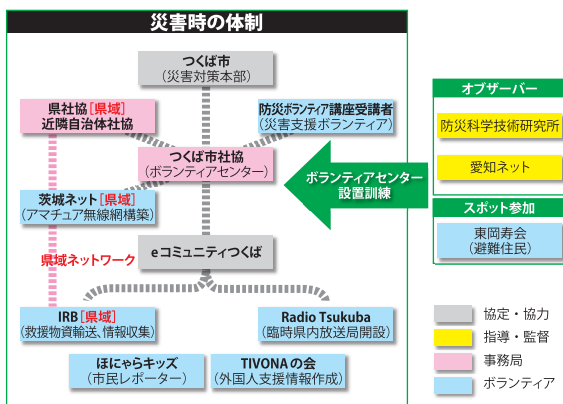


図1 役割相関図

茨城県南部地震（震度6強）の発生の翌日に災害ボランティアセンターが設置されるという想定で、つくば市社協によるセンターの設置・運営及びeコミつくばを用いた情報収集訓練のほか、「RadioTsukuba」がミニFMを用いた場内放送を、「IRB」がバイクによる被災地調査と物資輸送とアマチュア無線によるスタッフ間連絡を、「TIVONAの会（外国人支援グループ）」が掲示物の英訳版作成と英語の場内放送を、「ほにゃらキッズ」が携帯電話を用いたeコミつくばへの情報登録の役割を果たしました。

従来の「組織&組織」が行う訓練ではなく、平時からeコミつくばで培った関係性が企画・実施の過程で発揮され、つくば市社協単独で行うことが困難なイベントを実現させました。

また参加したそれぞれのグループが自ら新たな

な課題を発見して持ち帰り、対処の検討を行うなど地域の潜在的防災力向上のきっかけになりました。

### ●災害時要援護者安否確認訓練

2007年10月14日及び28日に、つくば市社協とeコミつくばで「大曾根小学校PTA安全安心マップ」を活用した「災害時要援護者安否確認訓練」を行い、前回の訓練で得た反省を踏まえつつ、自治会や小学校PTAの協力を得て、さらに一歩踏み込んだ訓練を実施しました。

この訓練には、eコミつくばにオブザーバー参加している「つくばフットボールクラブ」の好意でカラーギブス（色付ゼッケン）が貸出され、未参加団体の間接的貢献という新しい関係が生まれました。



写真1 カラーピブスを着用する参加者

### ●台東区竹町コミュニティ・イベント支援

2007年11月25日に、台東区竹町コミュニティ主催のオリエンテーリングがつくばで行われ、eコミつくばでイベント支援を行いました。

## 今後の展望

つくば市社協主催で「IRB」と防災科研で毎週1回「防災勉強会」を開催しています。2007年12月からはつくば市役所も出席し、産官学民連携でeコミを活用した課題解決を検討しています。